

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-670-7720

(氏名) 廣田 武仁
 (氏名) 桐原 威憲
 配当支払開始予定日 未定

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	321	24.7	73		76		75	
2019年3月期第2四半期	427	4.2	22		26		23	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 76百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 24百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.06	
2019年3月期第2四半期	0.96	

(注) 2019年3月期第2四半期及び2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,554	511	32.5
2019年3月期	1,419	568	39.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 505百万円 2019年3月期 560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,119	11.3	35	163.7	27	413.6	28	166.7	1.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	24,724,500 株	2019年3月期	24,550,500 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	株	2019年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	24,687,418 株	2019年3月期2Q	24,481,156 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、設備投資が緩やかな増加基調にあるものの、10月に実施された消費税増税の影響や、米中貿易摩擦の長期化など、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような環境の下、当社は安定的な収益が確保できる体制を強化するため、デジタルサイネージ関連事業において、機器リース・運営部門といった安定収益事業を中心に展開してまいりました。また、デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業においても、積極的に拡大展開を図ってまいりました。

これらの結果、売上高321,533千円（前年同期比24.7%減）、営業損失73,028千円（前年同期は22,744千円の営業損失）、経常損失76,703千円（同26,246千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失75,562千円（同23,570千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。なお、年度の見直しに変更はございません。

また、セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門は主にデジタルサイネージのリース、運営部門はデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門はデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース・運営部門につきましては、長期契約による収益安定事業であることから、今後も安定的な収益が見込めております。

情報機器につきましては、製品の低価格化などにより、デジタルサイネージは幅広い業界に普及しつつあり、市場は拡大傾向にあります。また外部企業との連携もあり、お問い合わせ件数や案件数は堅調に推移しております。その中で、当第2四半期においては、大型案件が売上まで至らず、低調な結果となりましたが、下期に向けて業績に寄与する見込みであります。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は、売上高291,917千円（前年同期比28.2%減）、セグメント損失63,187千円（前年同期は8,664千円のセグメント損失）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営している、Value creating事業につきましては、SNSと大型LED表示機を連動して地域に特化した販促、広告、マーケティングシステムの運営を行っており、当事業を推進するにあたり、SNSサイトを立ち上げる毎に、地域エリアに特化したデータベースやマーケティングが必要になること等により初期段階での投資が先行するビジネス形態となっております。当面は費用が先行する初期投資段階にありますが、地域に密着した新たなコンテンツ等を拡充させており、今後の拡大展開を見込んでおります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高29,616千円（前年同期比42.4%増）、セグメント損失9,841千円（前年同期は14,080千円のセグメント損失）となりました。引き続き初期投資段階にあるものの、展開地域数の増加により、セグメント損失の改善がみられました。将来的に当社グループの基幹事業とするべく展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、1,554,446千円（前連結会計年度比134,788千円の増加）となりました。その主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、1,043,178千円（前連結会計年度比191,738千円の増加）となりました。その主な要因は、借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、511,267千円（前連結会計年度比56,949千円の減少）となりました。その主な要因は、有償第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月13日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,392	1,106,547
売掛金	164,786	96,447
商品及び製品	82,112	104,380
仕掛品	14	7,805
原材料	22,429	38,884
その他	32,215	11,068
貸倒引当金	△137	△76
流動資産合計	1,213,812	1,365,057
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	437	404
工具、器具及び備品（純額）	6,144	8,706
レンタル資産（純額）	65,790	57,343
リース資産（純額）	47,218	60,141
建設仮勘定	23,621	-
有形固定資産合計	143,212	126,596
無形固定資産	10,810	9,241
投資その他の資産	51,822	53,551
固定資産合計	205,845	189,389
資産合計	1,419,658	1,554,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,488	46,066
1年内返済予定の長期借入金	265,192	291,392
未払法人税等	3,843	3,772
その他	57,683	54,546
流動負債合計	383,207	395,778
固定負債		
長期借入金	425,850	594,054
その他	42,383	53,346
固定負債合計	468,233	647,400
負債合計	851,440	1,043,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,557	574,562
資本剰余金	81,819	91,824
利益剰余金	△87,280	△162,843
株主資本合計	559,095	503,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496	1,487
その他の包括利益累計額合計	1,496	1,487
新株予約権	1,641	1,641
非支配株主持分	5,983	4,595
純資産合計	568,217	511,267
負債純資産合計	1,419,658	1,554,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	427,231	321,533
売上原価	204,127	146,122
売上総利益	223,103	175,411
販売費及び一般管理費	245,847	248,440
営業損失(△)	△22,744	△73,028
営業外収益		
受取利息	15	10
受取配当金	46	59
保険解約返戻金	-	980
その他	24	19
営業外収益合計	86	1,069
営業外費用		
支払利息	3,494	4,680
その他	93	63
営業外費用合計	3,588	4,743
経常損失(△)	△26,246	△76,703
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,246	△76,703
法人税、住民税及び事業税	248	248
法人税等合計	248	248
四半期純損失(△)	△26,494	△76,951
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,924	△1,388
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,570	△75,562

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△26,494	△76,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,556	△8
その他の包括利益合計	1,556	△8
四半期包括利益	△24,938	△76,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,013	△75,571
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,924	△1,388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,246	△76,703
減価償却費	29,085	26,842
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△142	△60
受取利息及び受取配当金	△61	△69
支払利息	3,494	4,680
売上債権の増減額(△は増加)	58,188	68,338
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,257	△46,514
仕入債務の増減額(△は減少)	2,461	△10,422
その他	24,811	3,009
小計	86,332	△30,898
利息及び配当金の受取額	61	69
利息の支払額	△3,560	△4,892
法人税等の支払額	△480	△496
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,353	△36,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△636	△647
有形固定資産の取得による支出	△12,161	△8,663
無形固定資産の取得による支出	△4,756	—
その他	288	337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,265	△8,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△136,896	△155,596
社債の償還による支出	△30,000	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	19,550	—
株式の発行による収入	—	19,994
セール・アンド・リースバックによる収入	—	35,301
リース債務の返済による支出	△8,316	△10,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,337	239,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	209,424	194,154
現金及び現金同等物の期首残高	857,830	912,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,067,254	1,106,547

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月10日付で、第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ10,005千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金は574,562千円、資本剰余金は91,824千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating	
売上高			
外部顧客への売上高	406,440	20,790	427,231
計	406,440	20,790	427,231
セグメント損失(△)	△8,664	△14,080	△22,744

(注) 1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	291,917	29,616	—	321,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	720	—	△720	—
計	292,637	29,616	△720	321,533
セグメント損失(△)	△63,187	△9,841	—	△73,028

(注) 1 セグメント売上高の調整額△720千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。